

令和6年度千葉県体力・運動能力調査結果の考察

1 実施期間

- ・本調査は、全児童・生徒を対象に、小学校は令和5年5～11月に実施。
中学校は4～7月に実施。
- ・いずれも新体力テストの実施要項に従い、学校ごとに実施。

2 結果概要

(1) 全体的な傾向

- 全体では県平均を上回った項目の割合が83.3%であった。(前年比20.8%増)全小中の男女別18学年×8項目＝144項目中、120項目(前年比30項目増)
- 上体起こし(筋力・筋持久力)、反復横跳び(敏捷性)、立ち幅跳び(瞬発力)において県平均を上回る割合が高い傾向にある。

(2) 校種別の傾向

【小学校】(学年別数値については別紙参照)

- 1・2・3・5・6年生男子、1・2・3年生女子で8項目中全てが県平均を上回った。
- 男女で比較すると、男子が県平均を上回る傾向が強くなった。

【中学校】

- 2年生女子で8項目中7項目が県平均を上回った。1・3年生女子も8項目中6項目が県平均を上回り、1項目が県平均同等であった。
- 2年生男子が8項目中6項目県平均を上回っている。

【全体を通して】()内の値は、昨年度比)

- 小・中学校男女別で県平均を上回った項目の割合は、小学校男子が97.9%(+50%)、小学校女子が81.3%(±0%)となった。男子は大幅に増加し、女子は同等の傾向となった。中学校では、男子が58.3%(前年度同様)、女子が79.2%(+12.5%)となった。
- 小学校では、上体起こし(筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)、50m走(瞬発力・スピード)、立ち幅跳び(瞬発力)において、県平均を上回る割合が高い傾向にある。
- 中学校では、上体起こし(筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)、20mシャトルラン(全身持久力)、立ち幅跳び(瞬発力)において、県平均を上回る割合が高い傾向にある。
- 小学校では、女子において20mシャトルラン(全身持久力)、中学校では、男女ともに握力(筋力)、男子において、ハンドボール投げ(巧緻性、瞬発力)において、課題が見られる。